



2024年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社進学会ホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 平 井 将 浩
(コード番号 9760 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 竹山 正輝
(TEL 011-863-5557)

第2四半期業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ
および子会社における解決金支払による営業外費用の計上のお知らせ

2024年5月10日に公表した2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、子会社における解決金支払による営業外費用の計上が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値の差

(2024年4月1日～2024年9月30日)

[単位百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,210	△230	△210	△260	△14.65
今回実績値 (B)	2,804	△437	△457	△499	△28.15
増 減 額 (B - A)	594	△207	△247	△239	
増 減 率 (%)	26.9	—	—	—	
(参考) 前期第2四 半期実績 (2024年 3月期第2四半期)	2,038	△1,003	△988	△1,039	△58.56

2. 2025年3月期通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

[単位百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	4,370	10	15	5	0.28
今回修正予想 (B)	5,800	20	25	10	0.56
増減額 (B-A)	1,430	10	10	5	
増減率 (%)	32.7	100.0	66.7	100.0	
(参考)前通期実績 (2024年3月期)	4,724	△1,347	△1,327	△1,667	△93.96

3. 差異が生じた理由および修正の理由

① 第2四半期業績予想に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきましては、教育事業での新学期生徒数を鑑みて第2四半期連結累計期間において、売上高1,010百万円、営業利益△230百万円、経常利益△210百万円、四半期純利益△260百万円として半期の計画を立てておりました。

・投資部門におきまして、第2四半期連結累計期間に売上高1,200百万円、営業利益0百万円、経常利益0百万円、四半期純利益0百万円として計画をしておりました。

上記2つを合算し、2025年3月期第2四半期業績予想を売上高2,210百万円、営業利益△230百万円、経常利益△210百万円、四半期純利益△260百万円といたしました。

② 差異が生じた理由

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきまして、第2四半期連結累計期間の売上高が1,147百万円と計画の1,010百万円を137百万円上回りました。利益につきましては、学習塾の会場統廃合及び講師数コントロールによる経費削減効果により、営業利益△195百万円、経常利益△211百万円、四半期純利益△240百万円となり、ほぼ計画どおりとなりました。

・投資部門におきまして、第2四半期連結累計期間の売上高が1,657百万円と計画の1,200百万円を457百万円上回りました。また、利益に関しては、10月2日に開示した「連結子会社の保有する有価証券の評価損発生に関するお知らせ」のとおり、当社子会社SG総研において、6月末までプラスで推移していましたが、8月の株価の暴落により、第2四半期までの累計で△240百万円の有価証券評価損を計上いたしました。結果、投資部門の営業利益△242百万円、経常利益△245百万円、四半期純利益△259百万円と計画を下回るものとなりました。

上記 2 つを合算し、2025 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の売上高 2,804 百万円、営業利益△437 百万円、経常利益△457 百万円、四半期純利益△499 百万円となりました。

③ 通期業績予想修正に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきましては、教育事業において、不採算会場等の統廃合を行った結果、売上が減少する一方、経費の削減により利益の改善を見込んでおります。また、個別指導部門の生徒数が堅調に推移しており、講座セット率の向上を行っております。また、他事業に関しては昨年と同等程度と考えております。これらのことから、通期で売上高 2,500 百万円、営業利益は△130 百万円を見込んでおります。

・投資部門におきまして、通期売上高 3,300 百万円を計画しております。また営業利益に関しましては上期で△242 百万円となりましたが、11 月中に第 2 四半期の△242 百万円が解消される予想から、下期の営業利益を想定し、通期での営業利益 150 百万円を見込んでおります。

上記 2 つを合算し、2025 年 3 月期 通期業績予想は売上高 5,800 百万円、営業利益 20 百万円、経常利益 25 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 10 百万円となっております。

※上記に記載した業績予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

4. 子会社における解決金支払による営業外費用の計上について

当社子会社は、2025 年 3 月期第 2 四半期（2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）において、元従業員への解決金支払の費用を営業外費用として 22 百万円を計上し、2024 年 10 月 31 日をもってこの費用が確定しました。なお、本件が 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微となります。